

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY枚方校					公表日		2025 年 5 月 9 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			活動内容に合わせ、日々配置を見直し支援を行っております。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			厚生労働省の指定基準を遵守し、運営しております。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			利用児に分かりやすい動線を確保した上で職員全員が全体を見渡せるような配置をしています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			清掃は常にしており使用後の教具や机などの消毒も随時行っております。身体を動かす十分な空間を保っております。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お子様の状況に応じて必要な際にはゆっくりと過ごせるスペースを確保し、職員が付き添っております。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			本社と連携を図り、スタッフ間でも共有しております。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			評価表はもちろん、面談やアセスメント調書の記載時などに保護者様の意見（ご要望）を聞いた上で改善へと繋げております。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			特別に機会は設定しておりませんが、常にスタッフの意見を話せる職場環境を心がけております。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、当事業所では実施しておりません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			全スタッフのスキルアップ研修を行い、今後も全スタッフの資質向上に努めてまいります。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			カリキュラムは保護者様のご要望やお子様の発達に合わせて作成し、説明させていただいております。カリキュラム内容についてはホームページに記載させていただいております。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			定期的に面談を行い、お子様の課題を全スタッフで話し合い、保護者様のニーズにも合わせた支援を心掛けております。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			個別支援計画書作成の際には全スタッフが目を通し、内容を確認する場面を設けております。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			支援計画の記載内容以外にも必要な項目についても職員間で話し合い、日々お子様に必要な課題に向けて支援に関わっております。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			子どもの発達段階について研修を行い、それを基にお子様の状況を把握し、それぞれのお子様に合わせた支援になるよう、心がけております。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			全てのお子様に対し、保護者様のご要望を伺い、お子様の段階に合わせて本人支援を行っております。又、必要に応じて懇談を行ったり、園訪問を行い、家族支援、移行支援へと繋げております。				

援助の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			話し合いの場を常に設け、全スタッフで立案しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			固定化しないよう日への振り返りを行いながらスタッフ間で話し合いながらカリキュラムを組んでおります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			お子様の課題を明確にした上で発達段階や保護者様のご要望にも合わせ、個別、2対1、集団活動など必要な計画を立てております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			毎朝のミーティングを通し、個々の活動内容を全スタッフで共有しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			その日行った支援内容やお子様の様子、保護者様からのお言葉など常に共有しております。
	22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			保護者様への連絡（日報）だけでなく、来所時の様子だけでなく、職員が感じたことなども記録しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			常にお子様の成長においての話し合いの時間を持つ中で、課題の見直し、見通しを明確にする場として必要不可欠と認識しております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		他事業所との意見交換ができる場があれば積極的に参加してまいりたいと考えております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じてそれぞれの機関と連携できるよう体制を整えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者様のご要望に応じて園訪問を行い、お子様の現状や課題に対して情報共有を行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		現在、小学校などとの共有は行っておりませんが、必要に応じて連携を持たせていただければと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて機会を設けております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在、共に活動する機会はありませんが、利用児にとって可能な環境設定ができれば連携の機会も考慮していきたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			申し送りや日報にて日々のお子様の様子をお伝えしております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在、当事業所ではペアレントトレーニングの取り組みは行っておりません。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			ご契約時に説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			お子様や保護者様のご意見を伺うためアセスメントシートを配布し、機会を設けております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			支援計画書には具体的な支援内容を記載し、保護者様にもご確認いただきながら、日々の支援を行っております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			6カ月に1度は懇談の機会を設けておりますが、日ごろからお電話やLINEにてご相談を承る環境を設定しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者様同士の情報交換の場として茶話会を年に2～3回開催しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			どのような相談であってもお話を伺いし、保護者様やお子様に寄り添える体制を整えております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			月1回マンスリー通信を配布し、お子様の様子や活動内容をお伝えしております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			鍵付きの保管庫で保管をしております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			分かりやすい言葉での説明を心がけ、図で示すなどの配慮をしております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、当事業所では行事などの取り組みは行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			緊急用リュックサックを常に届く場所に置き、マニュアルを全職員で把握しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			職員間で避難訓練の時間を設け、様々な想定での訓練を実施し、避難経路の把握も行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			ご契約時にそれぞれのお子様の既往歴などについてお伺いし、かかりつけ医などの情報を把握しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		保護者様にアレルギーの有無をご記入いただく用紙を用意しております。現時点で医師の指示書は頂いたお子様はおられませんが必要に応じて準備してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			定期的に安全計画の見直しを行い、それに基づいて研修や訓練を実施しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			ご契約時に避難場所のご説明を行い、定期的に訓練を行った際にはご報告をさせていただいております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			月に1度ヒヤリハットの内容について検討する機会を設けております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修を実施し、全スタッフで話し合う機会を設け、日ごろから留意しながら支援を行えるようにしています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			ご契約時に保護者様にご説明させていただいております。やむを得ず行う場合には保護者様に状況説明を行います。